

評価対象	具体的な評価項目	アンケート結果						考 察 ( )内の数値は昨年度の結果(%)	次年度に向けて
		教員	1年	2年	3年	全体	保護者		
学力の向上	1 生徒の学力向上に向け、意欲的かつ計画的にきめ細かな指導を行っているか。 生徒:学習全般に対して達成感・満足感を持っているか。 保護者:全般についての取り組みをどのように感じているか。	A a a	B b b	B a b	B b b	B b b	A a a	教:「十分」「そうしている」が97.4%(97.6)。 生:「大いに」「持っている」が62.0%(59.8)。 保:「取り組んでいる」が88.5%(87.8%)。 【生徒保護者の評価ポイント微増】	・学力向上を果たしている生徒が多い中、満足感を持っていない生徒が多い。これは、更なる向上を望む意識の表れと判断できる。 ①「わかる・できた」の積み重ねと、演習時間の確保、生徒自ら意欲的に学習に向かうことの出来る指導の工夫を図る。 ②担任面談の時間を確保する。
	2 生徒の興味・関心・意欲を喚起しながら、学力の定着に向け、様々な工夫をした授業を心がけているか。 生徒・保護者:全体として、授業内容に満足しているか。	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が100%(100)。 生:「満足している」が82.5%(79.1)。 保:「信頼できる」が80.5%(81.5)。 【生徒の満足度向上】	・教員の授業力をさらに向上させ、授業指導の充実を図る。 ①授業研究会や教科内研究を充実させ、効果的に習得させるための指導方法の継続的な工夫・改善を図る。 ②県立学校未来創造推進事業のICT機器を活用し、生徒が主体的に学び合う授業作りを推進する。
	3 生徒の家庭学習時間が増え、定着するよう工夫した指導を実践しているか。 生徒・保護者:計画的な家庭学習ができているか。	A a a	C c c	C c d	B a b	B b c	B c c	教:「十分」「そうしている」が94.6%(87.8)。 生:「出来ている」が52.6%(51.1)。 保:「出来ている」が51.8%(47.9)。 【生徒保護者の評価ポイント微増】	・家庭学習時間はアンケートの結果向上しているが、十分に学習できていると考えていない生徒が多数いる。 ①効率的な学習方法の指導を継続し、学習時間の充実を図る。 ②「自主学習の記録」を活用し、生徒が時間の自己管理を出来るようにする。
	4 生徒の実態や課題に応じて、学力を向上させるために、積極的に取り組んでいるか。 生徒・保護者:生徒の実態に応じて学力を向上させる取り組みに満足しているか。	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が97.3%(95.1)。 生:「満足している」が94.7%(92.5)。 保:「取り組んでいる」が79.2%(80.5)。 【生徒の評価ポイント微増】	・実態や課題を明確にし、動機を与える機会となる場面を増やし、学力向上のための方策を検証し続ける。 ①1年次の選抜クラスについて継続的に検証する。 ②習熟度別授業、類型クラスの在り方について検討する。
	5 長期休業中の課外や土曜補習の成果が上がるよう、様々な工夫をして取り組んでいるか。 生徒:全体的に満足しているか。 保護者:効果があるか。	A a a	A a a	A a b	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が86.1%(80.5)。 生:「満足している」が92.2%(87.0)。 保:「効果がある」が90.5%(87.5)。 【三者とも5%前後向上し、高い満足度】	・長期休業中の課外や土曜補習、学校開放について学力向上につながるよう組織的に取り組んでいく。 ①教科内で課外の実施方法や教材、内容等を研究する。 ②平常課外について学年内で情報交換を図り計画を立案する。
進路指導の充実	6 生徒の適性や希望などを十分に把握しながら、適切な進路指導を実践しているか。 生徒・保護者:主体的な進路選択をする上で、本校の進路に関する援助に満足しているか。	A a b	A a a	A b a	A a a	A a a	B b b	教:「十分」「そうしている」が92.1%(95.2)。 生:「満足している」が96.3%(94.4)。 保:「満足している」が63.7%(61.7)。 【向上傾向だが、保護者への支援が今後の課題】	・保護者向けの進路情報を的確に発信し、相談体制の充実を図る。生徒に対しては、キャリア教育を継続・推進していく。 ①ホームページ等を活用して保護者へ進路情報等を提供していく。 ②職業進路講演会や大学出前講義の充実を図るとともに、総合的学習の時間等を利用し、大学・学部・学科研究を充実させる。
教科外教育活動の活発化	7 部活動を通じた人づくりにむけ、積極的な指導を実践しているか。 生徒:部・同好会活動について、積極的に参加しているか。 保護者:部活動・同好会に対する学校の取り組みをどう思うか。	A a a	A a a	A a a	B b a	A b a	A a a	教:「十分」「そうしている」が84.2%(88.1)。 生:「参加している」が73.2%(68.5)。 保:「活発である」が75.4%(77.7)。 【概ね高い満足度】	・学業と部活動が両立できる指導計画の作成、悩み等の相談を充実させ、部活動の継続を推進する。 ①部活動顧問会議・職員会議等で情報交換やルール作りをする。 ②部活動・土曜補習の計画をバランス良く入れていく。
	8 生徒が学校行事や生徒会行事には積極的に参加し、充実感を友人とともに共有できるよう積極的に指導しているか。 生徒:満足しているか。 保護者:子息の満足度はどうか。	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が94.7%(97.6)。 生:「満足している」が89.0%(89.8)。 保:「満足」が91.1%(94.1)。 【全体的に高い満足度】	・各行事において、生徒がより一層主体的に計画・運営・実施が出来るように組織的に推進していく。 ①各行事の日程や内容など、生徒が活動しやすい環境を作る。 ②ホームページに学校行事等を公開し、保護者や地域に本校の様子を発信していく。
総括的評価	9 生徒が充実した学校生活を送れるよう、適切な指導・援助を実践しているか。 生徒:現在の足高での学校生活に満足しているか。 保護者:本校に入学させて良かったと思っているか。	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	A a a	教:「十分」「そうしている」が100%(100)。 生:「満足している」が86%(88.6)。 保:「良かった」が94.5%(96.4)。 【全体的に高い満足度】	・全ての生徒の学力向上、進路希望実現のために、授業改善、課外、補習、SSH、県立学校未来創造事業等を組織的・計画的に推進する。 ①より充実した授業のために、授業公開・授業研究を実施する。 ②面接週間や教育相談体制の充実を図る。
連携 教育相談 生徒指導	10 保護者との連携に努めているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	A (92.1%)	/	/	/	/	A (73.7%)	教:「十分」「そうしている」が92.1%。 保:「満足している」が73.7%。 【概ね高い満足度】	・保護者との連携に努め、個に合った指導ができるようにする。 ①電話等での連絡や学級懇談・保護者面談等を通じて情報交換を密に行い、連携を深める。
	11 生徒が相談しやすい雰囲気作りができているか。 生徒:相談しやすい雰囲気があるか。	/	A (79.8%)	B (69.4%)	A (77.6%)	A (75.7%)	/	生:相談しやすい」が75.7%。 【概ね高い満足度】	・生徒が相談しやすい雰囲気作りに努める。 ①相談の時間や担当を、面接週間や担任等に限らず、必要に応じて対応できる体制を作る。
	12 マナーや規範意識を育む指導ができているか。 保護者:教職員との連携に満足しているか。	/	/	/	/	/	A (72.9%)	保:「満足している」が72.9%。 【概ね高い満足度】	・保護者との共通理解や連携のもとに、マナーや規範意識を育む指導を推進する。 ①交通マナーやスマートフォン等の使用をはじめ日常生活全般で、適切な振る舞いができるような様々な機会を捉えての指導を継続する。

評価基準	生徒・保護者 アンケートの①②合計の回答率	教員 アンケートの①②合計の回答率
	70%以上 A (十分に成果があった)	80%以上 A (十分努力している)
	50%以上70%未満 B (成果があった)	60%以上80%未満 B (努力している)
	30%以上50%未満 C (少し成果があった)	40%以上60%未満 C (あまり努力していない)
	30%未満 D (成果がなかった)	40%未満 D (努力していない)

\*評価対象「連携・教育相談・生徒指導」の11~12の項目は、今年度の新たな設問なので、中段・下段の小文字はありません。

\*アンケート結果のアルファベットは次の通り。  
上段:平成26年度(大文字)  
中段:平成25年度(小文字)  
下段:平成24年度(小文字)